

貝塚市議会議長 南野 敬介 殿

【報告者】大阪維新の会貝塚市議会議員団
中西 真知子

奈良県橿原市行政視察報告書

【日時】 2023年8月1日（火）午後2時～3時
【視察場所】 〒634-8586 奈良県橿原市八木町1丁目1-18
橿原市役所

【参加者】 8名

- ・ 阪口 勇
- ・ 川岸貞利
- ・ 中川 剛（大阪維新の会貝塚市議会議員団）
- ・ 樽谷 庄道（大阪維新の会貝塚市議会議員団）
- ・ 長谷川 博文（大阪維新の会貝塚市議会議員団）
- ・ 中西 真知子（大阪維新の会貝塚市議会議員団）
- ・ 八野 裕嗣（大阪維新の会貝塚市議会議員団）
- ・ 蓮池 陽佑（大阪維新の会貝塚市議会議員団）

【交通手段】 車1台 / 貝塚市役所駐車場12時出発

【目的】 0～2歳の第2子以降の児童の保育料の無償化について

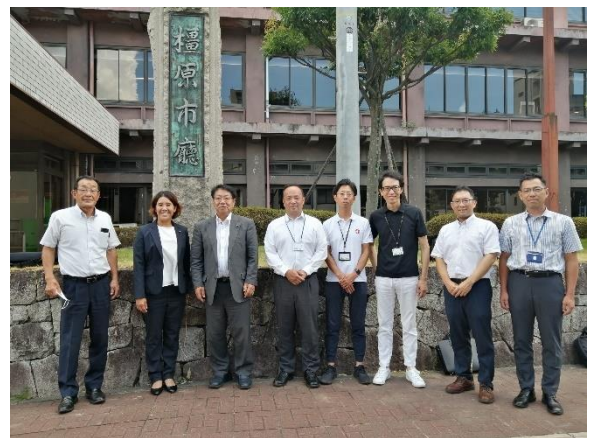
- ・ 経緯
- ・ 経費と財源
- ・ 議会の対応
- ・ 市民の反応と効果 等

【橿原市出席者】

こども・健康スポーツ部 副部長 上島 誠治様
こども・未来課 島田 様
橿原市議会事務局議事課 課長補佐 西川 豊和様

【橿原市は】

- ・ 歴史の古いまち。神武天皇が即位した場所なので皇族がよく訪れる
- ・ 万葉集の舞台、天の香久山がある
- ・ 「日本」という国号をはじめてつかった遣唐使の出発地
- ・ CMや映画のロケ地となった今井町がある。
- ・ 現在ストリートファイターとのコラボに力を入れている



【檀原市と貝塚市の人口比較（令和5年7月1日時点）】

① 市民全体

檀原市	男性	56,745人	女性	62,809人	合計	119,554
貝塚市	男性	39,948人	女性	42,789人	合計	82,737人

② 0-5歳の合計

檀原市	4,844人	*R3-5で緩やかに減少している
貝塚市	3,170人	

【0-2歳の第2子以降の児童の保育料の無償化の導入に至った経緯】

令和2年ごろ 無料でできる子育てガイドブックを作成するなど

当時の健康部課長や部長主導で子育てしやすいまちを目指し動いていた。

課長以上が集まる部内会議で注目され、子育て世代の職員を集めたプロジェクトチームをつくるなど動き、令和4年7月27日「子育てしやすいまち檀原」プロジェクト案を発表。

市長の政策の中に子育て支援の充実を掲げていた事もあり市長にも積極的な雰囲気はあったが、財務は1億クラス、全体の調整の中で財政当局の調整が一番難しかったとの事。

またプロジェクトに関わった職員も通常業務+αの業務となったため苦労もあったとの事。

R5年4月からの導入なので、明確な効果や数字はまだ見えていないが注目はされているとの事。

【所見】

今回の視察で一番印象に残ったことは、子育てしやすいまち檀原プロジェクトが市の職員側から立ち上がったプロジェクトだという事です。

税収が厳しい中、1億円規模の政策を実現するために市が一丸となり取り組みを実現させた事が印象に残りました。現地での質疑応答でもありましたが、多数ある課題に優先順位をつけながら各課で譲り合いながら予算編成をしていかねばならないので財政課が一番苦労したとの事です。目先の利益や移住者の確保に目をむけるのではなく、先読みしにくい10年20年と長期視野を持ち積み上げる未来への投資策を講じている所がとても印象的でした。

また、無償化の導入にあたり、今後の出生増加を見込み、また通わせたいこども園の待機児童対策として保育士の確保のために補助金を上乗せして求人している事、0-2歳児がこども園、保育園に通う際に必要となるオムツや布団のサブスクリプション制度の導入など、莫大な財政投資をしなくとも貝塚市においてもニーズがあるのであれば実現可能だと思われる子育て政策やその背景などを学ぶことができ非常に有意義な時間となりました。

最後に少子化により小学校の統合、幼稚園の統合・休園等が行われる予定がある中で、0-2歳の第2子以降無償化は、矛盾する部分もあるが、一時我慢してもいつかまた人が来るのだろうという取り組みである。という現実との矛盾に葛藤するお言葉も心に残りました。